

さんじょう民商



三条民主工商会
三条市興野2-16-29
TEL 32-2710
FAX 32-2710

2016年8月9日
223号

三条から10人が参加！

第62回日本母親大会 開催

8月20・21(土・日) 石川・福井

1日目は分科会。全員で「くらしと社会保障」に参加しました。

3人のパネリストより「子どもの貧困」は「憲法第14条」の「平等であつて政治的・経済的に差別されない」に反している。「大人の貧困」は「憲法第25条の健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」に反している。「介護の問題」は介護保険がスタートして20年。改悪改悪で負担増と給付抑制になつて現状を報告されました。

宇都宮弁護士は是正するには社会保障の充実が必要なのに削減をすすめている。その一方で防衛費は3年連続で増額です。貧困問題を解決するには「労働者の待遇・賃金など労働環境の改善」「医療の無償・年金など社会保障の政策」そして「消費税増税より富裕層・大企業に対し、課税強化が必要です」と訴え、「そうだ」と拍手が起きました。

2日目の全体会は輪島のすばらしい和太鼓演奏で幕開け。記念講演は琉球新報社編集局政治部長の島 洋子さん。「沖縄の民意」は新しい基地は作らせない。我が国の民主主義が試されている、と訴えました。

全国の交流で沖縄県高江の若いお母さんから「オスプレーが低空で飛び回り、低周波で窓ガラスが振動し、内蔵や頭の中が揺すられるようです。運用が始まつたら生き物も住民も」と生きていけるかわかりません。高江や辺野古をこれからも注目して下さい」と訴えると、会場から「頑張つて」と激励の声が上がりました。今年は若いお母さん達も多く参加し

ていただきました。母親大会がこれからも引き継いでくれると感じた大会でした。

初めて参加したMさんは「各地の大変な中でも頑張つている報告を聞いて何度も涙がでました。こんなすばらしい大会にすすめてくれた役員のみなさん、ありがとうございました」と感想を寄せてくれました。



地域毎に集まりをもつて交流を

8月8日(月)・加茂支部役員会開催

支部総会後の初めての役員会を開催しました。

「お盆までの仕事もあと少しで終わりだ」「たいしたことない」「まあまあだ」など、商売の状況を交流しました。今後の活動については、会員訪問を続けていくが、「こち側だけの話しだけになくなってしまうのではないか、やはり集まって話しをすることが必要なのは」とのことで、地域で集まりを持ち、時期的に夏忘れをしようと相談しました。なかなか集まりをもてない地域もありますが計画しました。

*下条地域

とき 8月27日(土)午後7時より

ところ めん亭、参加費 3,000円

*新栄町・栄町地域

とき 9月3日(土)午後7時より

ところ キッチンまくさ、参加費 2,000円

婦人部記帳会

8月30日(火) 13時30分より 民商事務所

8月30日(火) 19時30分より 民商事務所

8月30日(火) 13時15分より 石上 吉田さん宅

8月31日(水) 19時半 加茂支部事務所

